

# 府中市における 「適正規模の定義」と「適正規模・適正配置の基本的な考え方」

## ● 適正規模・適正配置の基本的な考え方（第5回協議会まとめ）

<p>検討時期</p>	<p><b>小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1学年1学級となる予測が出たら、速やかに改善検討に着手</li> <li>・ 学校全体で31学級になる予測が出たら速やかに改善検討に着手</li> </ul> <p><b>中学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1学年2学級となる予測が出たら、速やかに改善に着手</li> <li>・ 学校全体で25学級になる予測が出たら速やかに改善に着手</li> </ul> <p>意見</p> <p>小規模校について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の出生率が急激に上がることは考えにくいことから、早急に議論を始めなければならない</li> <li>・ 1学年1学級になるような学校は至急検討に着手した方が良い</li> <li>・ 人間関係が一度壊れてしまった場合、クラス替えができないなど改善が難しくなる</li> <li>・ 保育園でもかなりの欠員が出ているようなので、子どもの数が減ってきているのは事実であると思う。早い段階で、改善検討に着手すべき</li> <li>・ 小規模校の改善をすることは大規模校の改善にもなるのではないか</li> </ul> <p>大規模校について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築的にも一定数のクラス数以下に抑えておかないと建替えや改修が危険になる</li> <li>・ クラス数が増えると子どもたちの移動が大変だったり、カリキュラムを組んだり、体育館を利用するのが難しくなる</li> <li>・ 避難に危険を伴う</li> </ul> <p>共通：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校中学校含めて、ある条件の下でその地域をどうするのかを検討していった方が良いのかもしれない</li> <li>・ 教育の機会均等を考えると小規模校でも大規模校でも問題がある</li> </ul>
<p>通学距離</p>	<p><b>通学の安全面等を考えて、おおむね小学校で「2km圏内」中学校で「4km圏内」とする</b></p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人の足でも5km歩くのに1時間はかかるので、小学生では2km、中学生では4kmが限界ではないか</li> <li>・ 小学校1年生では2kmでも30分以上かかる。小学生2km、中学生4km圏内が妥当</li> <li>・ 公立でもスクールバスという選択肢があれば遠くの学校にも行けるのではないか</li> </ul>

# 府中市における 「適正規模の定義」と「適正規模・適正配置の基本的な考え方」

## ● 適正規模・適正配置の基本的な考え方（案）

地域	・ 適正規模に向けての方策を実施する際は、該当地域の自治会などの地域住民と意見交換をする
学校施設改築・長寿命化計画	・ 改築実施校の設計着手に合わせて、周辺校の状況に応じて検討する
施設面	・ 既存の学校で適正規模に向けての方策を実施する際は校庭や体育館の面積、教室数等を考慮して、学校運営に支障をきたさないようにする
小中連携	・ 適正規模に向けての方策を実施する際は、小中連携にも配慮する
その他基本的な考え方 例) 「教育の機会均等」 「感染症対策」 「保護者支援」 「学習環境の格差是正」 「学校施設の集約化・複 合化」 「防災拠点」 etc	